

DIGITAL コーラス愛知

2025/5/20
発行
第4号
愛知県合唱連盟

♪ 第31回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト高等学校部門 2025年1月13日（月祝） 名古屋文理大学文化フォーラム中ホール



春は西から

今年の高等学校部門のコンテストは、例年と場所を替えた名古屋文理大学文化フォーラムで行われ、30校、49グループ、461人が参加しました。

どのグループも緊張した面もちで本番前を過ごしていましたが、舞台に立つ時には歌詞に寄り添った表情や真剣な眼差しで存分に歌い上げていました。

歌いたい気持ちがあるからこそ、その気持ちを受け取ってくれる人がいるからこそ、合唱ができるのだと改めて感じられました。この先も合唱の灯が燃え続けていきますように。

最優秀賞・全国大会推薦に選ばれた「春は西から」（県立西春高校）は、公募審査で通過された金城学院高校グリークラブとともに3月に福島で実施された第18回声楽アンサンブルコンテストに出場され、素敵なアンサンブルを披露されました。（文責 末木豪）

愛知県合唱連盟 アンコン高校結果

混声の部 金賞

やってやろ岡コとしの夏は	（県立岡崎高校）
春は西から	（県立西春高校）
母に伝えよ岡コの感謝	（県立岡崎高校）
ふんだらも一たー	（市立向陽高校）

同声の部 金賞

桜花燦然スピネル	（桜花学園高校）
桜花燦然ヘリオライト	（桜花学園高校）
翼ノ女王	（愛知教育大附属高校）
けったましーん	（市立向陽高校）
Seraphim	（金城学院高校）
桜花燦然ラピスラズリ	（桜花学園高校）

♪ 西春高校生徒へのインタビュー

とても嬉しいです。本番前夜は部員全員で電話をして、大会への意気込みを伝えあい、「私たちは合唱部が大好きだね」と仲の良さを確認し合いました。今回いただいた金賞は、西春高校合唱部全員で取った賞だと思っています。普段の練習では、みんなで意見を言い合うことにより、良いところや改善点をたくさん伝えることを大切にしています。この練習により、技術面だけでなく仲間としても成長することができ、金賞につながったと思っています。

アンコンよりパワーアップした私たちで臨んだ全国大会では、より団結した私たちらしい歌声を響かせられたと思います。この機会を与えてくださった愛知県合唱連盟の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

♪ 第32回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト

2026年1月12日（月祝） 高等学校部門 名古屋文理大学文化フォーラム 中ホール

♪ 愛知県合唱連盟 合唱講習会 講師：上西一郎 先生

2025年3月30日(日) 名古屋市中村文化小劇場



今年度の講習会は、3月に発売され手元に届いたばかりの、名曲シリーズNo.53[2025年課題曲集]をテキストに、午前中の女声合唱の部では、「Motet Vermale I」(間宮芳生)を、午後の混声合唱の部では、「Das edle Herz」(A.Bruckner)を、譜読みしながら曲の概要を把握することをねらいに計画しました。

講師の上西一郎先生は、クールシェンヌ、Ensemble Nishiなどの団体で全日本合唱コンクールで15回金賞を受賞、宝塚国際室内合唱コンクールでは5回入賞され、コンクール審査員や講習会講師として全国的に大活躍をされています。先生のお人柄あふれる言葉かけや、「声を合わせることで個性を失わない」など、合唱をする上で心がけたいポイントを押さえた指導に参加者は引き込まれました。講習時間100分を有効に使い、明日からの練習に活かすことや音楽の深い理解と楽曲に精通した興味深いお話をたくさん聴くこともできました。日本で一番早い課題曲の講習会に、参加された方から「音楽の魅力に迫り、表現を深めるためにとても重要な時間だった。ドイツ語の発音や音楽表現の美しさを追究していきたいとあらためて思った。」とのうれしい声を頂戴することができました。

それぞれの部の最初と最後に、女声合唱は「春」、混声合唱は「リフレイン」を、伸びやかに美しく歌い合わせることもできる楽しい時間を過ごすことができました。ピアノを弾いてくださった、船橋綾乃さん(エシュコル)、白鳥清子さん(VOCI BRILLANTI)、ありがとうございました。

また、上西先生から直接合唱団がレッスンを受けることができる「合唱クリニック」に応募されたのは6団体。その中で抽選により受講されたのは以下の3団体でした。

- ・ 桜花学園高等学校合唱団 「昨日よりも優しくなりたい」(信長貴富)
- ・ コール・フリュッセ 「The Snow」(E.W.Elgar)
- ・ 混声合唱団VoxMEA 「寂庵の祈り」(千原英喜)

各個団の課題に応じて、妥協することなく、細かくアドバイスされる上西先生の巧みな指導で、表現がどんどん変容していくのを聴くことができ、受講者のみならず、聴講している私たちにも勉強になる時間となりました。(文責 山本高栄)



♪ 名古屋フィルハーモニー交響楽団「第九」演奏会

2024年12月14日(土)・15日(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール



1974年以来、50回目の出演となった年末恒例の「第九」。今回の指揮者はアントニ・ヴィット氏。ポーランド音楽の権威としても知られ、CDのリリースは200枚以上。グラミー賞も受賞。世界中の名だたるオーケストラとの共演など輝かしい経歴の指揮者に、期待は大きく膨らみました。いろいろな指揮者の音楽との出会いが、毎年出演を続ける楽しみのひとつになっている方も多いのではないのでしょうか。

河辺泰宏理事長をはじめ、神田豊壽、金原聡子、藤森徹の各氏の指導のもと、9月6日から14回の練習を経て本番に臨みました。「アマチュアの皆さんが楽しそうに歌っているのが、何より私は嬉しい」とのヴィット氏の言葉に励まされ、本番では表情豊かで力強い指揮によく応えて、聴衆からも高い評価を得る演奏をすることができました。(文責 川井由美)

2025年の名フィル「第九」は12月19日(金)・20日(土)愛知県芸術劇場コンサートホール。指揮者は川瀬賢太郎氏です。160名程度(S50, A60, T25, B25)の参加者を募集しますが、今回は参加希望者全員に以下の日程でオーディション〈会場:東桜会館〉を受けていただき、合格者により合唱団を組織します。※歌っていただく箇所は[2025年オーディション要領](#)を参照してください。

- ① 8月8日(金)18:45~19:30 男声(テノール)
- ② 8月8日(金)19:45~20:30 男声(ベース)
- ③ 8月15日(金)14:00~15:00 ソプラノ
- ④ 8月15日(金)15:15~16:15 アルト
- ⑤ 8月15日(金)16:30~17:30 ソプラノ
- ⑥ 8月15日(金)17:45~18:45 アルト
- ⑦ 8月15日(金)19:00~19:45 男声(テノール、ベース)
- ⑧ 8月22日(金)18:45~19:30 女声(ソプラノ、アルト)
- ⑨ 8月22日(金)19:45~20:30 女声(ソプラノ、アルト)
- ⑩ 8月29日(金)19:00~19:45 〈予備日〉

参加費 学生(高校生、大学生)1,000円。一般5,000円。

募集要項をよくお読みの上、奮って応募してください。

[2025年第九合唱団員募集要項](#)はこちら

郵送〈消印有効〉締切7月11日(金)

WEB申込

締切7月15日(火)

♪ 第32回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト中学生部門

2025年4月19日(土) 名古屋市青少年文化センターアートピアホール



滝&翼

部門名が「中学校」から「中学生」に変更となった第32回のアンコンには、28団体42グループが参加しました。部活動は週に3～4日、時間も1時間半などと制約が増える中、時間や練習方法を工夫して一生懸命取り組み、新3年生、新2年生として参加する初舞台で、さわやかな演奏を披露しました。男子12名で男声4部のアンサンブルに挑戦した「滝&翼」(名古屋市立滝ノ水中学校)が、最優秀賞・全国大会推薦グループに選ばれました。

愛知県合唱連盟 アンコン中学結果

A班 金賞

名古屋市立香流中学校
日振月甫 (名古屋市立振甫中学校)
桜吹雪 (名古屋市立桜山中学校)
混色だんご (名古屋市立高針台中学校)
さくらもち (名古屋市立高針台中学校)

B班 金賞

竜海中学校合唱部 (岡崎市立竜海中学校)
くりーむしちゅー (名古屋市立志賀中学校)
萩ノ月 (名古屋市立萩山中学校)
びーふしちゅー (名古屋市立志賀中学校)
滝&翼 (名古屋市立滝ノ水中学校)

♪ 滝&翼 名古屋市立滝ノ水中学校 長島 潮音

男声合唱定番の「鰲のうへ」「いざ起て戦人よ」を歌うことになり、正直、滝ノ水の男声で歌い切れるのか?と……不安を感じました。音取りを始めるとTopの高音の歌い方や内声のバランス、Bassの深みの出し方など大きな課題の壁がありました。特に「鰲のうへ」は全てがカタコトで、曲の雰囲気合った流れるような滑らかさには程遠かったです。練習中Topの子が思うように高音が出ず、心が折れ諦めかける場面もありましたが、毎日空いている時間に練習を重ね、発声や音色を合わせていくうちに、次第に先生にも褒められるようになりました。新たな課題をどんどん克服していく中で皆の意識が変わり、金賞を獲得することをゴールにするのではなく、皆で良い演奏をすることが目標になりました。努力の集大成として、本番を楽しんだ僕たちは、互いの頑張りを称え合い「歌い切れたから賞はなんでも良い!」という気持ちになっていました。

♪ 審査員の先生のご感想

【金原聡子先生】

合唱ではなく、少人数のアンサンブルでしか感じられない一体感、緊張感と共に中学生の皆さんのエネルギーあふれる演奏を聴けてとても嬉しかったです。賞の結果ではなく今日まで仲間の人々と一緒にがんばってきたその時間が皆さんの宝物となっていくと思います。ハーモニーを奏でる楽しさは一人では味わうことができません。その楽しさをこれからも皆でわくわくしながら追求してってくださいね。

【玉川昌幸先生】

人数は12人まで、無伴奏で指揮者無しという形態のコンテストはヴォーカル・アンサンブルの勉強のためには大変良いと思います。

左から河辺泰宏、金原聡子、中巻寛子、玉川昌幸 敬称略

各メンバーの自発性と共に、中心になるリーダーの働きも大切だと感じました。



【中巻寛子先生】

たくさんのお出場者。歌を愛し、楽しんでくださっている方がこんなにもいらっしゃることに喜びを感じ、皆さんの歌声を嬉しい気持ちで聴きました。広い舞台、会場に慣れていない方も多かったことと思います。広い場所では、まず会場の最後列まで声を届かせるつもりで、広い空間を身体全体で感じ取り、自分の味方に付けながら歌うようにすると良いと思います。小さく縮こまらないで!! 声(音程)を合わせることを気にするあまり、曲のテンポが遅くなった、フレーズが流れなくなったりしていたグループがあったように思います。音楽は流れです。その流れを大切にしながら、こちよく歌ってください。

♪ 第32回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト大学職場一般部門 2025年5月6日（火振休） 名古屋文理大学文化フォーラム中ホール



今年の大学職場一般部門は、ゴールデンウィーク最終日に行われました。歌うことが私たちの最上の喜びと、意を決して集まった16グループ166人の皆さんが、熱のこもったアンサンブル発表をされました。<一般の部>では、2曲の組み合わせや、曲想に合わせて隊形を変化するなど、経験を生かした発表が多く、<ユースの部>では、キラキラとした歌声に加え、振付けや衣装の工夫などで、舞台そのものを楽しむ演奏が続き、聴いている私たちの心を魅了しました。巧みな歌唱力とパフォーマンスで表現された「豊田市少年少女グレイス」が最優秀賞・全国大会推薦グループに選ばれました。

一般の部 金賞

チーム三五（混声合唱団VoxMEA）
極光ブラック

ユースの部 金賞

brillantiからの贈り物（VOCI BRILLANTI）
豊田市少年少女エンジェル（豊田市少年少女合唱団）
豊田市少年少女グレイス（豊田市少年少女合唱団）

♪ 金賞受賞団体へのインタビュー

チーム三五（混声合唱団VoxMEA）

やってきたことが全て発揮できました！
狙ってきた賞が取れました！



極光ブラック

毎年金賞だったので「今年も取らねば！」と思い練習しました。手作りのコサージュを付けての舞台は、気持ちが入りました。結果が金賞でホッ……としました。



brillantiからの贈り物（VOCI BRILLANTI）

本番までの練習で全員そろわない中で、一人ひとりの頑張りも大きかったですが…観客の方や白鳥先生の支えがあって、ここまでやってこられました。

豊田市少年少女エンジェル（豊田市少年少女合唱団）

今まで出てきたコンテストや演奏会は年上の団員に引っ張られてやってきましたが、今回はリーダーとして自分が引っ張る立場でした。大変でしたが、だからこそ最後には一体感が出て、結果につながったと思います。



豊田市少年少女グレイス（豊田市少年少女合唱団）

メンバーの変遷があり苦しい思いをしてきましたが、その分、グループ名が呼ばれた瞬間の喜びも大きかったです。合唱祭の招待演奏や福島での全国大会推薦も決まり、発表の機会が多くなって大変だと思いますが、頑張っていきたいです。



- ♪ 聴衆賞
- 1位 半田少年少女Piccolo（半田少年少女合唱団）
 - 2位 半田少年少女Le Lien
 - 3位 豊田市少年少女エンジェル

♪ 審査員の先生のご感想

【金原聡子先生】

本日は、年齢層が幅広く、沢山の個性あふれる演奏を聴かせてもらいました。

改めて、合唱は年齢性別を問わず誰もが楽しめるのだと思いました。順位を付けなくてはいけないので、世代の異なる団体を比べるのは難しい点もありましたが、一番大切なのはアンサンブルを心から楽しむこと。そのことを歌を通してどれだけのエネルギーで発せられるのかだと思います。これからも日々楽しんで歌ってってください。

【玉川昌幸先生】

<中学生部門>に比べて<大学職場一般部門>は、バラエティーな個性があって、楽しさもあるコンテストでした。コールデンウィーク最終日のコンテストに向けての練習は大変だったと思います。練習量の差が感じられました。結果は、練習量の差ということにして、今まで以上に楽しんで歌っていただけることを願っています。

【中巻寛子先生】

皆さんのステキな演奏を聴かせていただいたことに心から感謝申し上げます。歌を愛してくださる方がこんなにいらっしゃるのだと思うと、本当に嬉しくなります。

その上で申し上げたいのは、皆さんは自分たちの演奏に何を求めるのか？ 聴く人たちに何を伝えようとするのか？ 初心に立ち返って、もう一度自分に問いかけてみていただきたいということです。

まず、自分が楽しむ！ そして人に何かを伝え！ 与え！ 共有する！ その喜びをぜひ味わっていただきたいと思います。

♪ 審査員賞：金原賞 VOICE AND MEN （名古屋ユースクワイア）

全員がノリノリで心の底から演奏を楽しんでいて声のエネルギーの発散を大きく感じたから



玉川賞 極光ブラック

極光（オーロラ）ブラックというグループ名の怪しさと演奏の素晴らしさのギャップに心が惹かれたから

中巻賞 ブリと共に人生を楽しもう （VOCI BRILLANTI）

「108歳まで」＝「人生への応援歌」を皆さんへ伝えようとするメッセージ性と「ブリと共に人生を楽しもう」というグループ名との一貫性に、心をつかまれたから



♪ PRタイム風景



♪ 第33回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト

2026年4月18日(土) 中学生部門

名古屋市青少年文化センター

アートピアホール

19日(日) 大学職場一般部門

名古屋文理大学文化フォーラム

中ホール